

小学生漢字調査： < 毎日新聞 2005年1月27日 21時20分 Web掲載記事から >

「川下」「米作」...なじみ薄い言葉に

「川下」は「川した」、「米作」は「こめ作」 - -。27日、総合初等教育研究所が公表した漢字の読み書き習得調査からは、現代っ子の苦手な漢字が浮かぶ。前回80年の調査と比べて正答率が下がった字もあるが、研究所は「言葉がなじみの薄いものになった影響もあるようだ」としている。

学年修了時で正答率が10%未満の読みは、小学4年の「米(べい)作農家が多い」(0.7%)や6年の「畑に肥(こえ)をやる」(6.3%)など6字。書きは4年の「兄と交たい(代)で看病する」(8.9%)、6年の「一し(糸)乱れぬ行進」(5.5%)など9字で1割を切った。

02年から書きは2年間かけて習得することになったが、5年の「ものごとのもと(本)を正す」が学年修了時の4.6%から1学年上で0%に下がったように、成果が上がっていない例もある。

6年の字で正答率が最低だったのは読み書きともに「読(とく)」。3年の「読書」は読み書きとも正答率が8割を超すが、6年の「読(とく)本」は読みが0.8%、書きが1.9%。80年の読み23.1%、書き40.8%から大幅に落ちた。

「川上(かみ)」や「川下(しも)」の読み、「晴(せい)天」の読み書きなどは、前回とは出題学年が違うものの、ともに正答率が大幅に下がっている。

正答率が上がった文字の一つが「層」。6年の書き「高そう(層)ビルが建つ」は80年の19.7%から65.4%に上昇。「めん(綿)みつな計画を立てる」の書きは23.4%から10.6%に下がったものの「めん(綿)のシャツを着る」で尋ねると55.6%になり、語句によって正答率が上下する傾向もうかがえる。

80年の各学年の書きのワーストワンは、「はち(八)月」(1年)、「そ(反)り返る」(6年)などだったが、今回はいずれも正答率が上がった。

読み書きしにくい漢字の学年別ワーストワン

(各学年で学ぶ漢字の中で、学年修了時に正答率が最も低かった漢字。正答率は%)

正答 正答率 誤答例

<読み>

1年	ほそい三日月	み	17.4	さん
2年	あつさで食が細る	ほそ	39.6	こま
3年	川下に流れていく	しも	17.5	した
4年	米作農家が多い	べい	0.7	こめ
5年	あざやかな色さい	しき	29.8	しょく
6年	祖父は読本で勉強した	とく	0.8	どく

<書き>

1年	ほそいみ日月	三	55.1	見
2年	せきがあく	空	23.9	開
3年	父に取りつぐ	次	10.2	着
4年	まるい形の葉っぱ	円	6.5	丸
5年	ものごとのもとを正す	本	4.6	元
6年	祖父はとく本で勉強した	読	1.9	特

80年の「書き」ワーストワン漢字は今回.....

問 題	前回(80年)	今回(03年)
はち(八)月	60.4(1年)	96.0(1年)
人とあ(会)う	17.6(2年)	44.0(2年)
とん(問)屋	11.1(3年)	20.8(6年)
とう(読)点	6.0(4年)	25.8(6年)
支じ(持)する	4.7(5年)	34.9(5年)
そ(反)り返る	1.7(6年)	38.1(6年)